

(様式第6号 別紙)

## 長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

### 1. 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
--------------------

### 2. 事業者情報

名称：ロザリオ保育園	種別：認可保育園
代表者氏名：濱口公子	定員（利用人数）： 110名（128人）
所在地：長崎市新戸町3丁目14番地2	
Tel 095-878-4251	

### 3. 総評

#### ◇特に評価の高い点

##### ■ 地域の中で育つ子どもを目指す“ロザリオファミリー”

園長は、子どもたちには生まれた故郷を大切に生きて人間に育ててほしいという強い思いから、職員・保護者・地域住民が一つになり、子どもたちを優しく見守る体制を整えている。

大人たちの思いは子どもたちに伝わり、小学校卒業時には子どもと保護者が卒業のあいさつに園を訪れている。

また、年長児は2、3ヶ月に一度の地域高齢者との交流を楽しみにしており、子どもたちが、その日を“ハッピーデイ”と名付けている。

園では、このような繋がりが子どもの育ちに重要であるとして、関わる人々を“ロザリオファミリー”と称している。

子ども自身が、社会の一員として大切な存在であることを理解し、友だちや家族、地域の人々と仲良くできる子どもを育む保育方針とその実践は園の特長である。

##### ■ 子どもの自主性を育む組織的なPDCAの稼働

園では、子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを展開している。保育室内は、安全面に配慮しながら、棚の向きや安全柵、机や椅子などの配置を検討し、年間を通して子どもの成長を想定したクラスのレイアウトを行っている。また、その過程を写真で記録し、次の保育の参考として活用している。更に、変更した際に起こる課題は職員間で話し合う他、園長・主任にも相

話し解決に向けて進めている。職員は、子どもの聴覚・視覚・触覚を最大限に活かすことができる環境となるよう常に工夫しており、好きな遊びや制作に集中する子どもの姿がある。

また、保育内容について各クラスで話し合い、環境を検討し子どもが集中して遊び込める空間になるよう工夫を重ねているなど、組織的にPDCAサイクルが稼働していることは、園の優れた点である。

### ■ 職員自ら将来の姿を描くことができる総合的な仕組みづくり

園では、振り返りシートを毎年2月に園長に提出している他、理想とする職員像についての個人の目標と具体的な取り組み、研修希望を記した文書、保育園の目標に対して各職員が取り組みたいことを明示している。また、職員が、専門リーダー・職務分野別リーダーを担うことで、本人の能力を發揮できるよう仕組みを作り、育成することで職員一人ひとりが自身の将来の姿を描くことができるよう工夫していることは、園の特長である。

## ◇改善を求められる点

### ■ リスクマネジメント体制

園では職員間の情報共有により、リスクの回避に努めているが、要因分析や改善策・再発予防など講じるためのヒヤリハットの事例収集の仕組みづくりはこれからである。また、園ではこれまで不審者の侵入など事例がなく、訓練に現実的な想定が不足していると思われる。

他園と情報交換するなど、リスクマネジメントに関する仕組みづくりを行うと共に不審者侵入時の対応についての訓練内容の検討を期待したい。

### ■ 保育の質の向上に向けた更なる取組み

園では、保育に関する課題や課題解決等の経緯、結果はクラス単位で留まることが多く、組織的な情報共有は職員会議や保育士会で行うが、未満児、以上児となると情報共有は難しいこともある。園長は、今後、機会を設けることが必要と考えている。園の保育目標を更に進めるためには、全体での情報共有の仕組みづくりが望まれる。

また、園では年2回、園長・主任が日本保育協会の園の自己評価を行っているものの、職員は関わっていない。また、自己評価から見直しを行うまでには至っておらず、今後の予定となっている。保育の質の向上に向けて、更なる検討、取組みに期待したい。

### ■ 職員育成の仕組みづくり

園では、独自にロザリオ保育園が大切にしていること（理念と基本方針）及び

理想とする職員像を文書化し明示していることが確認できる。

各職員は年度初めに自身の目標等を記した文書を園長に提出しており、園長は年度末までには全職員と個人面談するよう努めている。

現在のところ、年度途中で職員の目標についての確認や中間面接は実施していないが、園長は必要性があると認識しており、今後取り組みたいと考えている。

今後の取組みに期待したい。

#### 4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けるにあたり、全職員で自己評価に取り組むことができ、現状の把握と方向性の整理をする良い機会となりました。今後に向けて具体的な課題と取り組みにも気付かせて頂き、子どもたちの幸せにまた一歩近づける喜びを感じています。

保護者の皆様の評価と貴重なご意見を力に、子どもたちの主体性を大切にしながらこれからも地域に愛される保育園として、保護者の皆様に安心して利用していただける運営ができるように、全職員さらなる保育の質の向上に努めて参りたいと思います。

最後に福祉総合評価機構のスタッフの皆様の丁寧なサポート、評価に感謝を申し上げます。

#### 5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

#### 6. 利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

I 福祉サービスの基本方針と組織	
1 理念・基本方針	
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 ①	a
<b>【コメント】</b> 法人全体で理念・基本方針を策定しており、それを基に昨年度からロザリオ保育園として保育理念・基本方針を策定している。 理念・基本方針は、ホームページや園のしおりなどに掲載しており、明示していることが確認できる。 職員は、園の理念・基本方針から個人の目標を立ており、園長・主任と共有し、必要な研修受講等を含め、実践に繋げている。 園長は、職員が今以上に理念・基本方針の理解を深めることを求めている。 5月の聖母祭という行事の際に保護者総会を行っており、保護者向けに作成した年間の事業計画を説明する際に、法人及び園の保育理念・基本方針をわかりやすく伝えている。 園長は、保護者と一緒に園を作っていくことが大切だと考えており、園庭の遊び場づくりのプロジェクトに保護者に参加してほしいことを伝えているなど、理念・基本方針を具現化する活動が確認できる。	
2 経営状況の把握	
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価
① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 ②	b
<b>【コメント】</b> 園の事業経営に関わる環境・情報は、県や市の保育協会から情報を得ている。全国的な情報は、社会福祉関係の勉強会や法人全体の拡大顧問会で、保育・医療・高齢者の情報共有を得ている。また月刊誌で、全国の状況を把握している。 課題である給食費徴収について、運営規定や重要事項説明書等の見直しを検討している。 子どもの数は、長崎市幼児課や保育士会で議題に上がり、ほか地区別の待機児童、保育園の増設なども議題となっている。 園長は、このような情報からコスト分析を行い、職員の確保や保育スペースの確保など園の課題に取り組んでいる。さらに、職員が園の仕組みが浅いと知り、福利厚生などの説明も行い職員が理解を深めるよう工夫していることがわかる。	
② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 ③	b
<b>【コメント】</b> 今年度、園長は職員に経営状況の説明を行っている。 園に必要な職員数を見越し、国の規定以上の職員を配置している。 園長は、保育現場を最優先し、理事会や評議員会でも経営課題を話している。今年度は、医療的ケアについて報告しており、現状等を明確にし取り組んでいる。	
3 事業計画の策定	
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 ④	b
<b>【コメント】</b> 園長は、今回第三者評価を受審するにあたり、中長期計画を検討し作成している。 中長期計画には、園長の保育園運営の根幹となる重点目標を明記しており、3つの経営方針と現状と課題、対処方針を策定していることが確認できる。 中長期計画の内容は、口頭で職員に伝えており、既にふれあいサロンとの交流が始まっている。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 ⑤	b
<b>【コメント】</b> 今年度の途中で中・長期計画を作成しているため、年度当初に作成した事業計画と内容が異なっている。単年度の事業計画は、園長・主任が作成しており、単なる行事計画になっていないことが確認できる。今後は、中・長期計画を毎年度見直し、その内容に沿った単年度の事業計画となることが望まれる。	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 ⑥	b
<b>【コメント】</b> 毎年度の事業計画作成では、園内研修や行事計画に職員の参画がある他、職員の研修希望を基に研修計画を作成している。行事の見直しは、常に行っており全職員で検討し、決定している。 今年度、園長は事業計画及び予算について、職員に詳細を説明しており、園の運営について理解を促している。この取組みは、職員が園の運営を知ること、より積極的に保育に関わることに繋がると園長は期待しており、継続することで園の特長となると言える。 今後は、園が進めている各クラスの年間計画や専門リーダー、職務別リーダー等の年間計画を入れるなど、園として組織的な事業計画策定となることを期待したい。	
② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 ⑦	a
<b>【コメント】</b> 園では、今年度、保護者に向けた事業計画書を作成しており、配付し周知を図っている。この事業計画は主な内容を記載しており、園が一年間に予定している保育内容や給食・健康管理計画、避難訓練、地域との交流事業、職員の研修等、わかりやすく記しており、保護者会総会にて説明している。 保護者も一緒に子どもを育むという園の方針に沿ったこの取組みは、園の特長である。	
<b>4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組</b>	
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 ⑧	b
<b>【コメント】</b> 園では、園の保育理念・基本方針を基に、全体的な計画を作成しており、全職員が関わり前年度の全体的な計画の評価見直しを行い、次年度の計画策定に反映していることが、確認できる。また、保育内容について、各クラスで話し合い、環境を検討し子どもが集中して遊び込める空間になるよう工夫を重ねているなど、組織的にPDCAサイクルが稼働している。 更に、日本保育協会の園の自己評価を年2回行っており、園長・主任・副主任2人が実施し、保護者が確認できるよう掲示板に掲示している。 園長は、今回、第三者評価を受審するにあたり、各自が自己評価を行ったことで、多くの気づきが生まれ、今後の取組みに繋がると考えている。	
② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 ⑨	b
<b>【コメント】</b> 園では、保育内容に基づき各クラスで環境設定の検討を行う際には、現状と変更後を写真に撮り、検討した内容を具現化した様子を誰もが確認できる工夫がある。更に、変更した際に起こる課題は、職員間で話し合う他、園長・主任にも相談し解決に向けて進めている。 ただし、課題や課題解決等の経緯、結果はクラスに留まることが多く、組織的な情報共有は職員会議や保育士会で行うが、未満児、以上児となると情報共有は難しいこともある。園の保育目標を更に進めるためには、全体での情報共有の仕組みづくりが望まれる。 園では、年2回、園長・主任が日本保育協会の園の自己評価を行っているものの、職員は関わっておらず、自己評価から評価見直しを行うまでには至っておらず、今後の取組みとなっている。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

II 組織の運営管理	
1 管理者の責任とリーダーシップ	
(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 ⑩	a
<b>【コメント】</b> 園長は毎月発行する園だよりに園長として保育に関する姿勢等を発信しており、保護者だけでなく職員に対しても園長の考えを伝える機会となっている。 職員全員が園だよりを読み、園長の考えを共有できるよう、主任が職員に声を掛け、読むよう促している。 園長は着任3年目であり、着任後、保育の見直しに着手し、従来の保育について新保育指針を基に子どもの自主性を重んじる保育に転換することに注力している。 園長が出張などで不在の際には有事の時も含めて、主任に権限委任することを職務分担表に明記している。 更に、園長は毎月の職員会議には必ず出席している他、保育士会議にも都合がつかう場合は参加しており、職員の考え等に耳を傾け、園長としての考えや指示等を行っていることが各種会議録から確認できる。 このように、園長が自らの役割と責任のもと、園の保育方針を定め、職員に理解を得ながら進めていることは、特筆すべき点である。	
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 ⑪	b
<b>【コメント】</b> 園長は遵守すべき法令等について、適切な情報を得よう努めている。今年度、修道会全体の園長会にて働き方改革について社会保険労務士が講師となった講習に参加し、情報収集している。 防火管理者は園長であり、講習会に出席する他、医療的ケアの勉強会や県・市の保育協会が主催する勉強会に出席している。 更に、今後は労務管理の研修会に出席したいと考えている。	
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	第三者評価
① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 ⑫	b
<b>【コメント】</b> 園長は毎月の職員会議には必ず参加している他、保育士会にもできるだけ参加し、園の様子を知ること努め、意見等を述べている。また、保育の質の向上に向けて、日頃から気づいたことは職員に伝える他、会議等で指導していることが、会議録から確認できる。また、職員の保育に関する悩みや相談にも対応し、園長としての考えを伝えてアドバイスしている。また、職員のレベルアップに向けて研修受講を促す他、指導記録について全てに目を通している。ただし、園長・主任は指導記録に対して、時々助言や感想を伝えることはあるものの、コメントや指導を記すまでに至っておらず、課題だと考えている。今後の取組みが待たれる。 園長は職員の個別面談を年1回行っており、今年度末は各職員の評価反省を基に行う予定であり、研修希望などを把握し充実を図ることが期待できる。	
② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。 ⑬	b
<b>【コメント】</b> 園長は、職員に社会福祉の根幹である福祉の心を根付かせるため、毎朝“お告げのマリア修道会の事業所で働く職員としての心得十ヶ条を祈る”から一項目ずつピックアップして、繰り返し読むよう指導している。さらに経営課題を説明することで課題を共有し、工夫して保育することに繋げている。 また、園では専門リーダーの年間計画を作成し、リーダーとしての自覚を持ち活動するよう促している。 園長は、職員が働きやすい環境整備として、専門リーダー及び職務分野別リーダーを任命し、それぞれが自覚をもって活動するよう指導している他、職員が一人でストレスにならないよう、2人リーダー制を導入している。 行事担当は、素案を出し全職員で検討している。小さな子どもを抱えている職員には、子どもが休む時は休めるように時間を優先していることが確認できる。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

2 福祉人材の確保・育成	
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者評価
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 ⑭	a
<b>【コメント】</b> 人材確保の方法として、学校に直接求人しており、特に実習生を求めている他、職員の知り合いやこれまで園長と一緒に働いていた人などに声を掛けている。 半期ごとに働きたい希望の人はその要望に応え、後半に雇用する場合もある。 次年度の人材確保については、定年の職員は嘱託として雇用したり、新規採用を行っており、必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な取組みが確認できる。	
② 総合的な人事管理が行われている。 ⑮	a
<b>【コメント】</b> 職員台帳を備えており、そこには職歴や資格等を明記しており、各職員の専門性等を把握している。就業規則は、いつでも確認できるよう園長室と職員室に整備している。 園では、振りかえりシートを毎年2月に園長に提出している他、理想とする職員像についての個人の目標と具体的な取り組み、研修希望を記した文書、保育園の目標に対して各職員が取り組みたいことを明示している文書も確認できる。このような文書を基に、園長は職員と面談しており、課題などについては一緒に考えて解決できるよう努めている。 園では、職員の教育係を主任・副主任が担当しており、1年目、2年目の職員と面談し、育成に繋げている。 専門リーダー、職務分野別リーダーなどを担うことで、本人の能力を発揮できるよう仕組みを作り、育成することで職員一人ひとりが自身の将来の姿を描くことができるよう工夫していることは、園の特長である。	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	第三者評価
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 ⑯	b
<b>【コメント】</b> 園長は、職員一人ひとりの就業状況や働き方の意向を把握している。基本的に、時間外労働のない勤務体制を構築するため、時差出勤制を導入している。これは、常勤非常勤の仕事のバランスについて考慮している。 園長は職員と定期的に面談し、希望の聴取や悩み相談を行っている。年一度の健康診断、予防接種のほか、ユニホームなどを支給し、福利厚生を実施していることが確認できる。 ワークライフバランスの配慮として、若い子どもを抱える職員や本人の体調不良に配慮し、シフトを組み替えている。職員には、互いに補い合うことで全職員が働きやすい魅力的な職場となるよう伝えている。	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	第三者評価
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 ⑰	b
<b>【コメント】</b> 園では、独自にロザリオ保育園が大切にしていること(理念と基本)及び理想とする職員像を文書化し明示していることが確認できる。 各職員は年度初めに自身の目標等を記した文書を園長に提出しており、園長は年度末までには全職員と個人面談するよう努めている。 現在のところ、年度途中で職員目標についての確認や中間面接は実施していないが、園長は必要性があると認識しており、今後取り組みたいと考えている。 今後の取組みに期待したい。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 ⑱	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園が独自に作成している「ロザリオ保育園が大切にしていること」「理想とする職員像」は、園が目指す保育を行うために必要なことと位置付けている。</p> <p>園ではキャリアアップ制度に適合する職員に該当する研修受講を促し、受講することで更なる質の向上に繋がっている。</p> <p>年間研修計画は事業計画書に記載しており、外部研修、園内研修の計画が確認できる。それぞれの研修については毎年該当する職員が受講している。</p> <p>園長は、全職員が研修を受講することが大切と考えており、研修で得ることができる知識、情報、保育方法などを園内にフィードバックすることで、園の質の向上に繋がると期待している。</p>	
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 ⑲	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>新任職員の育成に関して担当職員がおり、4月、6月に面談し、現状の理解度、困っていることを聴取し、記録を残している。新任職員の配置は、園長が決定し指導職員に確認しており、配属先のクラスで職員が指導するOJTを行っている他、新任から3年までは指導職員が担当する仕組みがあり、3年間は声を掛けたり相談に乗っており、本人をフォローしていることは園の特長といえる。</p> <p>また、記録の書き方については、1年目に指導しており、今年度は主任が指導を担当している。</p> <p>園では、外部研修に関してパート職員も受講しており、平等に学ぶ機会を設けていることが確認できる。</p> <p>更に、習得した情報を各クラスで話し合い、全職員が情報を共有できる工夫があるなど、職員一人ひとりの教育・勉強の機会を確保している。</p>	
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	第三者評価
① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 ⑳	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、毎年2、3人の実習生を受け入れている。実施要領は、学校側が園に提出しており、実習のスケジュールは学校及び本人の要望をもとに作成し、各クラス担任に伝えている。</p> <p>実習生は実習期間の守秘義務の書類を提出すると共に、園では実習生に対するマニュアルに基本姿勢や意義を明記しており、職員の周知を図っている。</p> <p>長崎市保育会では、保育士採用促進のプログラムがあり、園長もメンバーとなり“ふれあい体験プロジェクト”を推進している。園では、実習生を職員採用に繋がった事例もある。また、各大学の実習生受入れに対する意見交換会に、園長もしくは副主任が参加している。</p> <p>実習の指導日誌は、担当したクラス職員が記述し、副主任を経て園長が確認している。さらに実習終了後には、実習の振り返りがあり、学校も参加している。</p> <p>実習に関する積極的な取組みは園の特長と言える。</p>	
3 運営の透明性の確保	
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者評価
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 ㉑	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>法人及び保育園の理念・基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、財務諸表については、ホームページにて公開しており、運営の透明性の確保に努めていることが見て取れる。更に、園内で決算報告書を開示しており、保護者に向けて園だよりを通して閲覧できることを知らせていることが確認できる。</p> <p>地域に向けての印刷物や広報誌は作成していないものの、ホームページにて活動の様子を公表している。</p> <p>苦情解決の流れは園の掲示板に掲示する他、重要事項説明書に記載しており、ホームページでも明確にしていることがわかる。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 ㉒	a
<b>【コメント】</b> 園では、経理規定を整備しており、会計責任者及び出納責任者を定め職員に周知している。 園の会計に関して、税理士事務所が毎月訪問し確認しており、園長は不明な点を相談し、助言を得ている。 法人として、決算時には監事が内部監査を行っており、公正かつ透明性の高い適正な経営のための取組みが確認できる。	
<b>4 地域との交流、地域貢献</b>	
(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
第三者評価	
① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 ㉓	a
<b>【コメント】</b> 園長は、本園が地域に支えられている保育園であり、地域住民も一緒に子どもを育ててくれていると感じている。子どもたちにも自分が生まれた故郷を大事にして生きる人間に育ってほしいと日頃から話している。 小学校卒業後に子どもと保護者が園を訪ね、卒業のあいさつに訪れており、園は、卒園生は本園を家族と思っていると感じ、“ロザリオファミリー”と呼んでいる。 すべては子どもたちのためであると考え、職員、保護者には日頃から“一緒に子どもを育てましょう”と伝えている。 地域の商店とのつながりも大切であり、園の50周年の記念誌を卒園児の自宅である商店に預け配布してもらい、他、夏祭りのポスターを繋がりのある各商店に貼っている。更に、町公民館の責任者との交流を持ち、高齢者の集う地域サロンに職員と以上児が2、3ヶ月ごとに参加している。その日を“ハッピーデー”と子どもたちが名づけ、楽しみにしている。 地域の祭りでは、和太鼓を発表しており、保護者も見学に出向き地域住民と交流しているなど、子どもと地域との交流を広げるための多種多様な取組みは園の優れた点である。	
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 ㉔	b
<b>【コメント】</b> 園には、ボランティア受入れの基本指針があり、意義も確立していることが確認できる。 ボランティアとして、中学校・高等学校の職場体験があり、一日を通してクラスに入り子どもたちと遊んだり、援助している。職場体験の時間は、8時30分から16時であり、途中で学校の担当教員が様子を見に訪れている。 ボランティア受入れのマニュアルをもとに、園内のプライバシー保護、守秘義務について、中学校・高等学校の生徒と担当教員に副主任が口頭で話している。 ただし、プライバシー保護の観点から、保護者が撮影する場合にも、他の子どもの個人情報保護に抵触する可能性があると考えられる。ボランティアの守秘義務、保護者への個人情報への注意喚起等、いずれも同意を得る文書の作成は今後の課題であり、今後の取組みに期待したい。	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
第三者評価	
① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 ㉕	b
<b>【コメント】</b> 園では、活用する関係機関をリスト化し、主任・園長だけでなく職員も利用している。 医療が必要な子どもに対して、消防署や医療機関が園を訪れ、緊急時の対応について詳細に検討し、理解を促し、万全の体制となるよう努めていることがわかる。 また、園長が地域のネットワーク会議に出席し地域の関係機関・団体と共に地域の問題や課題を検討し解決に向けて具体的な取組みに繋げている。更に、地域の民生委員が来園し園への理解を促しているなど、必要な社会資源の活用と関係機関との適切な連携も確認できる。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価
① 保育所が有する機能を地域に還元している。 ㉔	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、毎週木曜日に園庭開放を行っており、一時保育を利用した親子が遊びに訪れている。また、園の運動会などの行事には、在園児の友達が20人程参加しており、一緒に楽しむ機会となっている。</p> <p>今年度からの取組みとして、入所が決定した家庭に、1週間の慣らし保育の前に来園を促しており、職員が対応できる時間帯に限るが、第一子を預ける予定の保護者に好評である。園としては、親子の関係がわかる時間でもあり、無料であるが今後も継続の意向である。</p> <p>園の一時保育は自主事業であり、里帰り出産や仕事上のスクーリングに参加する保護者など、様々な一時保育の受け入れがある。また、保護者の役員会の場所に、保育園を提供している他、昨年度から始まった“地域の未来まちづくり部会”では、園長は子ども部会に参加し活動しているなど、園が有する機能を地域に還元していることが確認できる。</p> <p>災害時の地域の役割は、地域でハザードマップを作成しているが、災害時における園の役割などこれからである。園の敷地は、岩盤であり地域の避難所となる可能性があり、役割について今後の検討・取組みが望まれる。</p>	
② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 ㉕	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、子どもたちが“ハッピーデイ”と名付けた公民館での高齢者サロンに2、3ヶ月に1度出掛け、高齢者と交流している。</p> <p>地域の民生委員・児童委員や公民館の責任者との連携を図り、地域の高齢者の情報収集を行っている。</p> <p>また年1回、地域のクリーン作戦運動に4、5歳児が参加し、ゴミ拾いを行うなど公益的な事業内容が確認できる。</p> <p>園長には、地域の独り住まいの高齢者と交流を持ちたいとの構想があることが聞き取れる。今後の取組みを期待したい。</p>	
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	
1 利用者本位の福祉サービス	
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価
① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 ㉖	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、毎朝朝礼時に“お告げのマリア修道会の事業所で働く職員としての心得十ヶ条を祈る”を唱和している。園には、倫理綱領や児童憲章を掲示しており、職員がいつでも確認できるよう工夫していることがわかる。</p> <p>園では独自に、理念を分かりやすい言葉に置き換え、理念の勉強会を行っている。勉強会には、職員は専用のファイルを持参しており、時間をかけて理念の浸透を図っていることが確認できる。</p> <p>園ではNGワード・OKワードを職員間で話し合い、明文化しており保育時のマニュアルとなっている。更に、全国保育士会が発行する、“人権擁護のためのセルフチェックリスト”を使用し、日頃の保育を振り返り評価を行っている。</p> <p>行政から、文化の違いや人種の違いなど互いに尊重する心についての文書が届いており、園では性差への先入観による対応、人種や文化の違いに対する人権擁護の考え方を統一し、保育に反映している。</p>	
② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。 ㉗	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>保護者が園長との面談を希望した際は、プライバシー保護のために園長室に招き入れており、担任以外との面談が可能と伝えており、希望があれば図書室で行うなど他人に気づかれないように配慮している。</p> <p>相談内容について、園内で共有すべきか否かの分別は園長が行っている。</p> <p>各クラスでは、子どもの生活の場としてふさわしい環境となるよう、配慮・工夫を行っていることが確認できる。</p> <p>園では、職員が話し合っ“NGワードOKワード集”を作成している他、子どものプライバシー保護や子どもの虐待防止等の権利擁護に関する規定・マニュアルを整備しクラスに設置し、職員に周知を図っている。ただし、これに基づく勉強会はこれからである。今後の取組みに期待したい。</p> <p>職員による子どもへの不適切な事案が発生した場合の対応方法は現在のところ確認できない。早急な取組みが待たれる。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	第三者評価
① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。 ㉔	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では入園希望者に対して保育所選択に必要な情報提供として、玄関にパンフレットを設置している他、自園のホームページ、長崎市保育協会のホームページで情報を公開している。</p> <p>入園のしおりは、挿絵と共にわかりやすい言葉遣いであり、誰にでもわかるような工夫が見える。</p> <p>保育園の見学希望者には、主任が対応し、該当するクラスで知りたい質問に丁寧に答えているなど、保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	
② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。 ㉕	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>年度初めの保護者総会では、重要事項説明書の内容について、主任が説明している。特に園の方針や思い・保育方針をわかりやすい言葉で解説している。</p> <p>また、園の行事や保護者の参加内容など計画の変更がある場合は、2ヶ月分の行事予定を渡すときに伝えている他、保護者総会でも内容を報告している。</p> <p>入園が決定した子どもは1週間の10分程度の慣らし保育を勧めており、スタートに不安がないよう支援している。</p> <p>園長は今後予定されている無償化に伴う給食費の徴収についての説明を行うことを検討している。</p>	
③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 ㉖	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>保護者から転園の報告があった際には、園に備えている行政の様式を渡し、行政担当課に提出するよう繋いでいる。転園先の保育園に子どもの児童要録を渡すこともある。</p> <p>登園を卒園した子どもの保護者から、相談がある場合は当時のクラス担当や園長が対応しており、相談しやすい環境を整えている。</p> <p>園では、卒園児を夏祭りや運動会に招待しているなど、継続性に配慮していることが確認できる。</p>	
(3) 利用者満足の上昇に努めている。	第三者評価
① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 ㉗	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、登降園時に職員が保護者と直接会話し、子どもの様子、成長を伝えている他、てつなぎノートを活用し、保護者の意向を聞き取っている。</p> <p>園長は個別面談を希望する保護者と面談し、相談や悩みを聴取しており、更に年度始めに実施する保護者総会では、主任・園長が保護者の質問等に直接回答している。</p> <p>また、保育参観後や音楽会などの行事について保護者に向けてアンケートを実施し、意向や満足度等を把握し、次回に反映している。</p> <p>更に年度末には保護者に保育についてのアンケートを行い、保護者の意向を把握し、職員会議で検討するなどの仕組みがある。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	第三者評価
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 ③④	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園の苦情解決の仕組みは、掲示板に掲示する他、図書室、各クラスの受入れ場所などに掲示している。また、ホームページにも公表している。</p> <p>苦情受付の対応方法等のマニュアルを作成しており、各クラスに配置して職員への周知を図る工夫が確認できる。</p> <p>意見箱や記入シートも設置しているが、入ることは少なく直接受け付けることがある。これまで和太鼓の練習音について地域住民から苦情があり、練習時や本番の際に園庭に向けての放送設備を利用して、地域に向けて事前に知らせるなど配慮している。</p> <p>避難訓練の音について「本当の火災ではないか」との電話があり、訓練時には外部に聞こえないよう工夫した事例もある。</p> <p>苦情公表はホームページや園だよりを活用していることが確認できる。。</p>	
② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 ③⑤	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>保護者が相談を希望した際は、相談しやすい相手を選択できることを伝えている。</p> <p>園は、2ヶ月に1度個人面談の日を設定しており、面談希望の保護者が訪れている。その際は、相談しやすいよう環境を確保し配慮していることがわかる。</p>	
③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 ③⑥	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、年度始めの保護者総会で保護者から直接質問が出ることもあり、主任・園長が回答する機会がある。</p> <p>音楽会の実施について保護者にアンケートを取り、園の決定事項を総会や園だよりで伝えている。</p> <p>職員が保護者の相談や意見を聞き取った場合は、主任・園長に伝えるルールがあり、迅速に対応している。</p> <p>また保護者からの相談が園長に直接会った時には、受容し傾聴の姿勢で対応している。ただし、記録はない。</p> <p>意見等の対応マニュアルは、作成していない。今後の取組みに期待したい。</p>	
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	第三者評価
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 ③⑦	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園ではリスクマネジメントに関する担当者を設置している。事故対応を安全確保について、マニュアルを整備し各クラスに設置しており、AEDの使用法は専門業者や消防署に依頼し使い方を学んでいる。</p> <p>園では事故防止対策委員会を設け、ヒヤリハットの収集を始めたところである。ヒヤリハットを収集したファイルには、ヒヤリハットと事故報告が混在しており、明確な区分が必要と考えられる。</p> <p>今後は、ヒヤリハットの事例収集の工夫を行い、数多くの事例から事故を未然に防ぐことに繋げるように期待したい。</p>	
② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 ③⑧	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>感染症については、主に看護師が対応しており、キッズリーにて感染症の情報を提供したり、2ヶ月に1回発行する保健だよりにて告知している。玄関横にある掲示板でも知らせている。</p> <p>今季のインフルエンザ予防対策を検討しており、うがい手洗いについては朝礼を通じて、職員に周知を図っている。</p> <p>また、各クラスに吐しゃ物処理のセットを準備している他、日常的に次亜塩素酸ナトリウム水を噴霧している。</p> <p>ただし、園内には体調不良や熱が出た子どもが安静にする場所が定まっていないため、園長は課題と考えている。更に看護師を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等の開催やマニュアルの定期的な見直しもこれからである。</p> <p>感染症を予防し子どもの安全確保に努めるための取組みに期待したい。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 ⑳	b
<b>【コメント】</b> 園では、毎月避難訓練を行っており、年1回は消防署立会いの下に訓練している。自然災害の訓練は、大雨を想定し、“大雨が降ったら避難しましょう”という内容の紙芝居を用い、子どもにもわかるよう説明している。 園にはハザードマップを掲示しており、地域での土砂災害の説明にも参加しているなど、災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 保護者の安否確認は、出席簿の緊急連絡先を利用し、職員は緊急連絡網を整備している。ただし、訓練はこれからである。今後の取組みに期待したい。	
④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。 ㉑	b
<b>【コメント】</b> 園では、過去一年間不審者の侵入が発生していない。 園では職員が変装し、不審者侵入時の対応について子どもと共に訓練している。さらに不審者侵入時の対応マニュアルを作成している。警察には訓練協力の承諾を得ており、今後実施を検討している。 園ではこれまで不審者の侵入など事例がなく、訓練に現実的な想定が不足していると思われる。他園と情報交換するなど、不審者侵入時の対応について、訓練内容の検討を期待したい。	
<b>2 福祉サービスの質の確保</b>	
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
第三者評価	
① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。 ㉒	b
<b>【コメント】</b> 園では、登園から降園までの職員の仕事の流れを、わかりやすく時系列で文書化し、クラスに掲示している。例えば、1歳児のクラスでは、職員3人が担当しており、チェック表を見ることで統一した保育が出来るような工夫がある。 保育に関するマニュアルには、子どもの尊重やプライバシーの保護に配慮した内容となっている。 各クラスでマニュアルをもとに話し合いを行っているものの、園全体で理解を深めるまでには至っていない。今後は、園全体で理解を深めることで保育の質の向上に繋がることを期待したい。	
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 ㉓	b
<b>【コメント】</b> 今回の第三者評価受審に伴い、マニュアルの検証・見直しを行っており、保育内容の反映が確認できる。更に、マニュアルの検証・見直しは現場職員の意見や提案を反映しており、園のマニュアルとして確立している。 ただし、園の保育に関するマニュアルについては、定期的な検証・見直しに関する時期やその方法は、現在のところ定められていない。今後は定期的な検証・見直しの時期を組織として行うことを期待したい。	
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
第三者評価	
① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。 ㉔	a
<b>【コメント】</b> 全体的な計画には各クラスの職員が関わり、評価し見直して作成している。年間指導計画は、全体的な計画を基に、園の年間保育目標を含めて、子どもの育ちを考え作成している。 更に月間指導計画は、年間指導計画の3期分を把握し、連動するよう作成している他、週案は月案を基に作成していることが確認できる。 週案は週末に主任に提出し、園長が確認しており、適切に指導計画書を作成している。 子どもによっては、医師の意見を聞き、保護者や保育士、看護師、栄養士、調理員などさまざまな職種の関係者が集まり、本人に合った指導計画書を作成しており、その後の振り返り、評価を行う仕組みを整え機能していることは、園の優れた点である。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス共通評価項目

② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 ④④	b
<p><b>【コメント】</b>            クラスごとに月間指導計画について評価し、見直している。            今年度から指導計画の経過記録について週案の評価は様式を変更しており、使用しているところである。            保育参観のアンケートから、実施日が平日ばかりでなく、土曜日にも設定してほしいという意向を把握し反映しており、評価結果報告書を反映していることがわかる。</p>	
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
③ 第三者評価	
① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 ④⑤	b
<p><b>【コメント】</b>            園の以上児クラスは、3ヶ月に一度、個別の記録を作成している。            園では、キッズリーを活用しており、園のお知らせを行っている他、園、クラスごと、個別など用途に合った連絡ができるシステムとなっており、保護者が閲覧した記録が残るため、未読の保護者には連絡するなど工夫している。            クラス担任と園長・主任で情報共有しているものの、現状では、クラス間の連携ができていないため、園長は課題として捉えている。今後の取組みに期待したい。</p>	
② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 ④⑥	b
<p><b>【コメント】</b>            園では、子どもの記録については、職員室や園長室で分別し管理保管しており、文書の保存期間を明確にして掲示している。            個人情報保護管理規定は作成しているものの、職員・保護者への周知はこれからとなっている。            園として、子どもの個人情報に関する文書作成等は園内で作業するよう、また、パソコンで作業したデータはパソコン内に残さず、外部収蔵物に記録するよう伝えている。更に職員のスマートフォンを使用して、キッズリーにアップする子どもの写真を撮影した際は、アップした段階で、スマートフォンからデータを削除するルールがある。            園のホームページには、行事などの様子を知らせる写真等を掲載しており、入園時に保護者に向けて承諾書を得ていることが確認できる。ただし、現在の書式には承諾する公開範囲の分別がないため、保護者が選択しやすいよう今後の検討・取組みに期待したい。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス内容評価項目

A-1 保育内容	
(1) 保育課程の編成	第三者評価
① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。 A①	a
<b>【コメント】</b> 園の特徴として、全体的な計画を基にし、理念に基づいた今年度目標とサブテーマ、保育目標を定めている。ちなみに今年度”理念を生きる””サブテーマ・一人一人に向き合う(1人1人かけがえのない大切な存在)”保育テーマ目標”自分で考え行動できる子ども(物的・人的環境を整える)”である。 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法などの趣旨をとらえて編成している。また、全体的な計画には、家庭支援、地域との連携など、子どもに関わる様々な計画も掲げていることが確認できる。 保育のねらいやその内容は、担当職員が話し合ったことを反映している。見直しは、年度末に職員に投げかけ実施している。	
(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 A	b
<b>【コメント】</b> 園内の保育室の温度、湿度、換気、採光、音など職員によって差がないよう、職員間でエアコンやカーテン、加湿器、空気清浄機などにて調節している。特に午睡時は落ち着いて眠れるよう、保育室の音や採光の調節に配慮している。 また、保育室内や園庭などの設備や玩具等の消毒、清掃に努め、衛生管理を行っている。 子どもがくつろいで過ごせるよう、子どもの目線や動線を重視し、コーナーを再度検討している。 クラスごとに子どもの育ちに合わせ、食事や睡眠時が心地よい空間となるよう、努めていることが見て取れる。 ただし、トイレ待ちの小さなベンチについては、衛生上の検討が必要と思われる。今後の検討、取組みが待たれる。	
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 A③	a
<b>【コメント】</b> 園では一人ひとりの子どもの発達の違いを把握すると共に、家庭が提出する児童記録やてつなぎ、連絡帳をもとに家庭での様子を把握し、保育に反映している。 職員は子どもが発する欲求、気持ちを受け止め、受容し本人の思いに沿った援助を心掛けている。まだ発語が十分でない子どもには気持ちを代弁し、本人の様子を確認し援助している。 園長は子どもの自主性を育む保育の重要性を常に伝えており、今年度の保育目標は“自分で考え行動できる子ども”であり、職員は理解し、日々の保育に反映している。 せかす言葉、制止させる言葉について、職員会議で話し合い、園独自の“NGワード・OKワード”を作成していることは園の特長といえる。更に、現状に留まることなく、改善を重ねており、主任・園長のリーダーシップのもと、全職員が参画し、保育の質の向上に繋げていることは園の特筆すべき点である。	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス内容評価項目

③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 A④	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園ではクラス毎に子どもの発達に合わせた環境を整えている。例えば、0歳児のクラスでは、フローリングやカーペット、畳などのコーナーがあり、木製の温かみのある調度類を配置していることが見て取れる。</p> <p>園では、子どもの育ちに合わせ、トイレトレーニングをスタートしている他、給食の時間には、スプーンや箸の持ち方、自分の完食できる食事の量などを学ぶ機会として捉え、援助しており、たとえば、スプーンの上持ちから下持ちとなるよう、職員は工夫している。</p> <p>保育テーマ目標”自分で考え行動できるこども(物的人的環境を整える)”であり、職員は保育テーマに沿って一人ひとりの子どもが自分で考え、生活習慣を身につけるようサポートしている。子どもが、基本的な生活習慣を身に付けることが出来た時は、充分に褒め、本人が自信が持てるよう努めている。</p> <p>年齢別では、3歳児に身に付けてほしいことの一つとして、身の回りのことや後始末が出来るようになることがある。</p> <p>4歳以上児になると、生活習慣を身につけるよう片付け、手洗い・うがい、早寝・早起きができるよう援助しており、後半からは食べることの重要性を伝えている。整理整頓についても話し、職員が持ち物等をチェックし、声を掛けて促している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に合わせ、基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っていることは、優れた点と言える。</p>	
④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 A⑤	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>0、1歳児のクラスでは、子どもの育ちに合わせて、調度類やおもちゃなどの配置を定期的に見直しており、常におもちゃがある環境を整備している。特に、土曜日は子どもが集中して遊べる環境を作ることで、子どもたち同士で遊びが次々と展開し発展している。自分たちでおもちゃを使って遊びを作るなど、職員一人ひとりの探究心により、保育環境のマンネリ化がなく、日々子どもにとって良い環境となるよう、挑んでいる姿勢が見受けられる。</p> <p>更に、園では子どもの情緒が豊かになるよう、伝承遊びであるゴム跳びやわらべ歌を基に、リズムのような動きとリズムを取り入れている。</p> <p>周辺の近隣の公園まで散歩したり、園庭でも虫捕りを楽しんでおり、子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開していることが確認できる。</p>	
⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 A⑥	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>0歳児は個々の発達状況に合わせて、年間指導計画を基に個別指導計画を作成している。入所前の面談で聞き取る離乳食の状況や家での様子を踏まえた内容が計画となっており、計画は毎月作成しており、特記事項に保護者との面談内容を記録し、反映している。</p> <p>0歳児のクラスは、看護師を含め6人の職員体制であり、一人ひとりの子どもの指先の発達、離乳食の経過など評価を6人の情報を基に、常勤職員が記録し評価している。</p> <p>クラスでは、職員の話合う時間を取り、結果を反映して年度初めにクラスリーダー案を作成し、標準的マニュアルを作成している。</p> <p>園長は、0歳児クラスの職員の保育姿勢として「子どもに付く」「サポートする」など、子どもを優先することと伝えている。</p> <p>SIDSのマニュアル・哺乳瓶の洗い方などのマニュアル作成は、0、1歳児チームで取り組んでいることが確認できる。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス内容評価項目

⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 A⑦	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>3歳未満児では、子どもの育ちに違いがあるため、年間計画は、4期に分けて作成している。特に2期を6から8分割しており、夏の遊びの項目を取り入れている。</p> <p>月の評価は、期のねらい、週のねらいを確認しながら評価、振り返りを行っている。振り返りで抽出した課題は、次月の目標に取り入れる仕組みがあり、クラス担任で話し合い、常勤職員が計画を作成している。</p> <p>2歳児までは、個別指導計画を作成しており、子どもの様子が気になる時や保護者が期待する成長像がある際は個別に記入し反映している。</p> <p>未満児は、個別の遊びから集団への遊びに移行する時期であり、みんなで遊びたいと一人で遊びたい気持ちを優先するため、職員は子どもの様子を見ながらサポートしている。ケンカは当事者と一緒に考えたり、仲介することで仲直りできるよう支援している。</p> <p>自我が目覚める時期であり、友だちと遊びたくない場合は、仕切りで区切って遊ぶよう援助しており、周りが気になり始めたら集団に入って遊ぶよう促している。</p> <p>園庭で他のクラスの子もたちと同じ空間で遊んでおり、自然に異年齢児との関わりが出来る環境がある。</p> <p>手つなぎとキッズリーを活用して、一人ひとりの子どもの状況を家庭と連携しており、養護と教育が一体的に展開できるような環境を整備し、保育の内容や方法に配慮していることが確認できる。</p>	
⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 A⑧	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>3歳以上児の一人ひとりについて個別記録を作成しており、クラスの職員ミーティングで検討する仕組みがある。</p> <p>3歳児は、遊びを中心とした保育環境を整えている。例えば、絵本のコーナーで絵本を読んだり、上のクラスにあこがれを持ち、給食では生き生きと配膳する姿がある。</p> <p>4、5歳になると、和太鼓の練習を取り入れ、友だちと心をひとつにして成し遂げる達成感を体験したり、あいさつや礼儀を身に付けている。職員は集団の中であっても、個性を活かし自己肯定力を育てている。</p> <p>5歳児は、製作途中の作品をどうするか、自分で判断するように促している。更に、運動会の進行役や内容についても、あいさつ内容からすべて子どもたちが考えており、3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが確認できる。</p>	
⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 A⑨	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園には医療的ケアの必要な子どもと配慮が必要な子どもが在園しており、看護師が支援し主治医の受診結果を園に知らせるための様式を用いて情報交換している。</p> <p>また、障害児一人ひとりに担当する職員がおり、個別に支援していることが確認できる。配慮が必要な子どもについては、療育手帳を取得していない場合は障害児と確定しないため、個別支援計画は作成していない。ただし、極力個別に支援するようクラス担当職員間で話し合いながら、本人のその日の様子に沿って支援している現状である。</p> <p>職員は、日々の言語や心理状態などの変化について記録している他、保護者が療育センターで行ったことなどを担当職員に報告するためのノートがあり、情報を共有する工夫がある。時間があるときには送迎時に話しあっており、気になることの相談を受けることもある。</p> <p>職員はクラスの子どものために助けてあげてほしいことなど声掛けするよう伝えており、子どもが受け入れることができるよう支援している。</p> <p>担当職員は障害児保育に関する研修を受講し、園内研修の際に報告し全職員で情報共有する仕組みがあり、気になることなどは、保育士会も活用して周知を図っている。</p> <p>2ヶ月に1回、個人面談希望を聴取し、希望がある場合に対応する仕組みがあるなど、障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容や支援方法に配慮していることが確認できる。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス内容評価項目

⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 A⑩	b
<p><b>【コメント】</b>          子どもにとって登園してから降園するまでの時間は長時間であり、職員は登園時に保護者から朝からの様子を聞き取り子どもの様子を確認し、一日を楽しく過ごせるよう職員間で状態を共有している。          クラスで一日の保育計画があるが、子ども一人ひとりの様子を見ながら午前、午後の過ごし方に配慮している。          延長保育は19時まで行っており、子どもが少なくなると異年齢で集まり過ごしている。延長保育では、子どもが空腹になるため、18時30分を過ぎるとおやつを提供している他、延長保育当番の職員に日中の子どもの様子を伝える仕組みがあり、保護者に伝えるべきことが漏れないよう工夫している。</p>	
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 A⑪	b
<p><b>【コメント】</b>          園の位置する場所から小学校は遠距離であり、普段からの交流は少ない。地区別幼保小連絡協議会の情報交換会が年に1回開催されており、年長児クラスの担任が参加している。配慮が必要な子どもについての話し合いや要録に全てが書けないことへの対応等、具体的な協議を行っている。          年長児クラスでは、希望に沿って保護者の個人面談を行っており、不安等の相談に乗る機会がある。          就学前検診等で保護者が小学校を訪れる機会はあるが、保育園側が訪れる機会は少ない。          就学前に小学校から訪問がある他、園の運動会や卒園式に校長先生等が訪れている他、園から小学校に電話し、子どもの様子を伝えており、特に気になる場合は小学校から訪れている。          5歳児の午睡は年明けに終了し、鉛筆の持ち方や文字、数字の勉強を行っており、小学校での時間の過ごし方を支援している。          要録作成に関しては、昨年度新しい要録の様式に変更になっているため、各クラスの職員がそれぞれ記入している。</p>	
<b>(3) 健康管理</b>	第三者評価
① 子どもの健康管理を適切に行っている。 A⑫	b
<p><b>【コメント】</b>          園では、看護師が年間保健計画を作成しており、それに基づいて保健指導を行っている。          一人ひとりの子どもの健康状態については、朝礼時に伝える他、ボードに記載して職員間にて情報を共有している。また、保護者は年度末に子どもの健康調査票を園に提出しており、園では既往歴、健診の指導内容を確認している。          園ではSIDSについて、0歳児は5分間隔、1歳児は10分間隔、2歳児以上は目視で確認している。          園では2ヶ月に1回保健だよりを発行しており、子どもの健康のために保護者に知ってほしいことを記載し伝えている。ただし、SIDSについて保護者への情報提供はこれからである。          子どもが怪我した場合、キッズリーの機能を活用し、患部の写真を撮り、保護者に送って対応について判断を仰ぎ、対処している。</p>	
② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 A⑬	b
<p><b>【コメント】</b>          健康診断、歯科検診は毎年1回実施している。結果は記録し、職員に周知を図っている。健診で異常があった時は、保護者に受診を促している。          健康診断、歯科検診の結果は、年間保健計画に反映し保育を実施している。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス内容評価項目

③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 A⑭	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、“保育所におけるアレルギー対処ガイドライン”を基に、アレルギー疾患の子どもに対して、状況に応じた適切な対処が行えるよう配慮している。</p> <p>現在、エピペンを使用する重度なアレルギー疾患の子どもはいないものの、エピペンの使用方法は全職員が把握している。</p> <p>保護者に関しては、保育参観で講話した際、看護師が子どもの健康について話し、保護者が相談しやすい関係づくりを行っている。</p> <p>給食については、医師からの指示書をもとに、アレルギー除去の一覧表を作成しており、ランチルームに掲示し、職員が分かりやすいよう工夫している。</p> <p>給食日記の材料の欄にマーカーで記し、職員が間違えないよう工夫している他、ホワイトボードにも代替え食を記入している。提供時には、トレーと名札で配膳に間違えがないよう徹底しており、献立表にラインを引いて代替え食を提供している。</p> <p>ランチルームには、食物アレルギーチェック表を掲示しており、食物アレルギーの子どもを同じテーブルに集め、職員が傍について援助している。</p> <p>ただし、緊急対応マニュアルは作成してあるものの、全職員への周知を図る他、定期的な見直しはこれからであり、対応を期待したい。</p>	
(4) 食事	第三者評価
① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 A⑮	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、調理員が主となり保育士と共に食育計画を作成しており、子どもたちが楽しく食べること、食事に興味を持つよう取り組んでいる。</p> <p>毎年度、食育計画は保育目標に基づいて、食育目標を5項目作成しており、各クラス毎に計画を策定している。献立表とは別に、4ヶ月に1回発行の給食だよりがあり、今年度のテーマは「生体リズムと骨の成長」についてわかりやすく掲載している。</p> <p>マニュアルは今年度アレルギーの内容が改定されたため、見直しの予定である。園の給食マニュアルは、手洗い、服装、食品の洗い方、使い分け掃除などの内容であり、見直しはこれからである。</p> <p>園では、0歳児から3歳児までが各クラスで給食を食べ、4、5歳児はランチルームで給食の職員と話すなど、楽しみながら食事している。</p> <p>食育の一環として、保育のクッキングの時間に、調理師が野菜の効能について話している。</p> <p>給食室は、保護者へ食事に関するアンケートを実施する他、食物アレルギー疾患の子どもとの保護者と面談している。</p> <p>園では、基本的に強化磁器の食器を用いることとしており、育ちに合わせて検討し順次食器を交換している。</p> <p>離乳食の相談は、クラス職員が聞き取り、食べている様子を見ながら対応している。園では、3月に卒園する子どもたちのリクエストメニューを取り入れ、お別れ会はバイキング形式である。多種多様な食事を楽しむことができるよう、工夫と共に食育を通して食事に興味を持つよう取り組んでいることが確認でき、園の特長と言える。</p>	
② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 A⑯	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、過去1年間に衛生管理で問題発生していない。</p> <p>給食室は、各クラスの担当職員と連携し、一人ひとりの子どもの食べる量や残食の量を確認している。</p> <p>園では地元の商店から食材を購入し、旬の食材を取り入れ季節感のある献立を調理している。夏場のそうめん、彼岸のおはぎなどの他、地域の食文化として、ももカステラ、ちゃんぽん、浦上そばなども提供し、子どもが食について関心を深めるための取り組みを行っていることが確認できる。更にクリスマスは、クリスマスバイキングを取り入れている。</p> <p>給食室の職員は、ランチルームにて子どもの食事の様子を見たり、会話する機会があり、次の献立に反映している。</p> <p>園の衛生管理マニュアルは給食室で使用しているが、定期的な点検や必要に応じた見直しはこれからである。今後の取組みに期待したい。</p>	

## 第三者評価結果:長崎県福祉サービス内容評価項目

A-2 子育て支援	
(1) 家庭との緊密な連携	第三者評価
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 A⑰	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園と家庭との連携方法として、登降園時に直接会話するほか、キッズリーを活用している。また、0歳児クラスはてつなぎ、1歳以上児は連絡帳を使い、子どもの成長、日々の様子を共有する手段が多くあることがわかる。特にキッズリーでは、当日の保育の様子、子どもの様子を写真にコメントを付けて、個別に閲覧できるシステムを活用しており、保護者に好評である。</p> <p>園の特長として、クラスごとに年に3、4回保育参観を行っており、成長の様子を確認できる機会が多い。また、クラスごとに連絡ボードを使い、当日の保育の様子、子どもの活動の様子を記し、保護者に伝える工夫が見て取れる。</p> <p>園は家庭と連携することで子どもの成長を共有し、一緒に子どもを育むための多種多様な取組みは、特筆すべき点である。</p>	
(2) 保護者等の支援	第三者評価
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 A⑱	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、保護者が相談したい時には、クラス担任に限らず希望する職員が対応することを伝えている。保護者の相談には、相談しやすい相手を選べ、他の保護者の目に触れない場所を確保し体制を整えるなど配慮している。</p> <p>また、保護者の就労等に配慮し、仕事を終えた後の希望があれば夜間の相談にも対応している。職員や主任が相談に応じた場合は、園長に報告しており、相談者に適切に回答できるよう配慮している。保育園の特性を生かし、図書室の絵本を家庭に貸し出すとともに、図書室で親子で絵本を読める空間と整備している。また、園庭で遊んで帰宅する親子もおり、園として保護者を支援している事例が確認できる。</p>	
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 A⑲	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>園では、“子ども虐待評価チェックリスト”を活用すると共に、職員は気になる子どもの状況確認を行い、職員会議で情報を共有する体制を構築している。また、虐待を未然に防ぐために、保護者をフォロー体制がある他、民生委員・児童委員や地域関係各所との情報共有を行っている。</p> <p>園長は、虐待について理解しているものの、園としての連絡調査などの流れを含む園のルールを作成や子どもの人権について、職員に周知を図るのはこれからである。園長は各クラスの子どもの虐待チェックリストの作成頻度を検討している段階であり、園としての通告に流れも含め、早期の取組みが望まれる。</p>	
A-3 保育の質の向上	
(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 A⑳	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>各クラスで、毎週末に保育実践を振り返っている</p> <p>職員は、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や物事に取り組む様子などを大切に、月案の評価を次月に反映している。</p> <p>更に園では、職員が年度初めに昨年度の保育の評価と新年度の保育目標を書面で園長へ提出しており、今年度は園長と職員の面接を通して保育に対する姿勢を見直す機会を設けている。</p> <p>園では、クラス毎の情報共有はできているものの、園全体で子どもの現状を報告し合い、全員で情報を共有する機会を設けることが困難であるため、園長は、今後、機会を設けることが必要と考えている。</p> <p>今後の検討、取組みに期待したい。</p>	

## 事業所プロフィール（保育所）

1. 事業所名称：ロザリオ保育園
2. 運営主体（法人名等）：社会福祉法人サンタマリア会
3. 事業所所在地：長崎市新戸町3丁目14番地2号
4. 事業所の長の氏名（園長等）：濱口公子
5. 連絡先  
電話：095-878-4251  
Fax：095-878-6950  
eメール：rozario@wonder.ocn.ne.jp  
ホームページ：`
6. 当該事業の開始年月日：
7. 同一事業所（同一敷地内または同一建物内で行われる事業を指す）で実施している同一運営主体の主な福祉サービス事業

延長保育  
障害児保育  
一時保育

8. 事業所が大切にしている考え方(事業所の理念や基本方針等を簡潔にお書きください。リーフレット等の資料を添付していただいても結構です。)

★カトリックの愛の心で（互いに愛し合いなさい）一人一人を大切にする保育を目指す。子どもたちが自分で考え、主体的に行動できるような環境作りを重視し、子どもの人権を尊重し 最善の幸福のために保育する。

★基本方針として、豊かな愛情をもって、子どもや家庭に対してわけへだてなく保育を行い保護者の意見や要望を真摯に傾聴し、より良い保育をしていく。

★保育目標として「心も体も元気な子ども」「思いやりのあるやさしい子ども」「自立できる子ども」めざし育てていく。

9. 現在の職員数（令和元年7月31日現在）：

常勤職員数 25 人、 非常勤職員数 5 人（常勤換算 3.5 人）

10. 定員及び現在の利用者：

(1) 一般保育

	定員（人）	利用者数（人）
0歳児	11	12
1歳児	15	22
2歳児	19	25
3歳児	20	23
4歳児	22	24
5歳児	23	22
計	110	128

(2) 特別保育

	定員（人）	利用者数（人）
延長保育	55	50
障害児保育	2	1
病後児保育	0	0
一時保育	2	1
その他 ( )		

11. 現在のサービス提供能力（利用状況）と利用者数

（以下のいずれかに○印をおつけください）

- ① サービスを希望しながら待っている人がかなりいる。
- ② ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない。
- ③ サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい。

12. 施設の状況

(1) 建物面積（保育園分）：

921.02 m<sup>2</sup> 利用者1人あたり 0.1 歳児3.3 2歳以上1.98 m<sup>2</sup>

(2) 園庭面積：

1,453 m<sup>2</sup> 利用者1人あたり \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

(3) 建築（含大改築）後の経過年数：

4 年

(4) 保育所の設置形態

- ・ 単独設置の場合：( 2 階建)
- ・ 他施設と併設の場合：  
併設施設種別：  
保育所の使用階数： \_\_\_\_\_ 階部分
- ・ 建築（含大改築）後の経過年数：( 4 年)
- ・ 3年以内の大改築計画の有無：( 有 ・  )

(5) 立地条件など

- ① 交通の便： \_\_\_\_\_ 駅から 徒歩、  バス、 その他 ( \_\_\_\_\_ ) で \_\_\_\_\_ 分  
バス停 戸町中学裏 から 徒歩 13 分
- ② 近隣の環境（周辺道路の状況、近隣の施設や建物、公園までの距離など）

13. 苦情解決の体制について

(1) 第三者委員設置の有無

- 設置している（委員数 4 人） ・ 設置していない

(2) 第三者委員の活動状況（定期的な訪問を依頼しているような場合その訪問頻度等）：

(3) その他苦情解決に向けての取組み（意見箱の設置、オンブズマンの導入等）についてご記入ください

意見箱を出入りの多い部屋に設置している。定期的に関確認している。苦情の意見・要望・苦情・不満を解決するための仕組みについてやホームページ・キッズリーでお知らせしている。

14. 各種マニュアルの整備

- (1) 基本業務実施マニュアル ( 整備している 整備していない )
- (2) 感染症対応マニュアル ( 整備している 整備していない )
- (3) 事故発生対応マニュアル ( 整備している 整備していない )
- (4) その他のマニュアル類がありましたらご記入ください

15. 事業所の特徴

サービス面で、他の事業所と比較をして優れていると思われる点、特徴があると思われる内容を3つ以内でお書きください。

①

入所前の親子クラス体験

②

保育参観を年に8回実施 (一人4回)

③

キッズリーを使って一日の子どもの様子を知らせる

## 長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所)

評価機関名	福祉総合評価機構
-------	----------

事業所名称	ロザリオ保育園
-------	---------

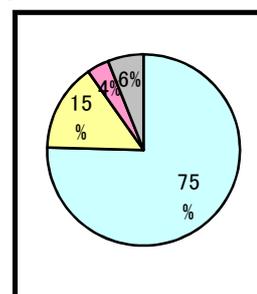
調査の対象・方法	<p>対象： 調査対象保育園の在籍園児保護者</p> <p>方法： 対象者へ調査用紙を配布 各自記入の上、評価機関へ直接郵送回収</p>
----------	--

調査実施期間	2019年 7月 1日から 2019年 7月 25日まで
--------	------------------------------

アンケート結果平均

利用者総数	128 人
調査対象者数	98 人
有効回答数	66 人
回収率	67 %

はい	1398 件	78%
どちらともいえない	276 件	13%
いいえ	69 件	4%
わからない	111 件	5%



総 評	<p>本アンケートは98人中66人の回答を得て67%の回収率となった。</p> <p>アンケートの結果から、利用者の満足度は全体を通して高く、特に問29「インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか」は93.9%と最も高い。次いで問7「困ったことを相談できる職員がいますか」、問19「お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか」、問20「お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか」が92.4%と続いている。一方、低い回答率は問13「地域や家庭(保育所を利用していない家庭も含めた)の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。」34.8%が一番低い結果となっている。</p> <p>自由記述を追っていくと、感謝のことば、賞賛は職員の日々の対応や質の高い保育、保護者への配慮、給食への感謝、保育環境の良さなど様々な記述が見られる。一方、一日の様子の伝達や行事など意見・要望の声がある。</p> <p>このような結果から、保護者は全般的に満足度が高く、職員の質、保護者、子どもへの接し方について高い評価がみられる。その一方、さまざまな意見・要望があることは見逃せない。</p> <p>今後は、本アンケート結果から保護者の意向を汲み取り、保育園として改善すべき項目に取組み、貴園の更なる質の向上につながるよう期待したい。</p>
-----	--

# 長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所用)

事業所名称	ロザリオ保育園	有効回答数	66 人
-------	---------	-------	------

評価対象	No	質問項目	回答	回答数	(%)	
全サービス共通項目						
保育理念 保育方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい		56 件	84.8%
			どちらともいえない		4 件	6.1%
			いいえ		4 件	6.1%
			わからない		1 件	1.5%
			無回答		1 件	1.5%
	2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。 * 問1にて「はい」と答えた方以外は非該当	はい		47 件	71.2%
			どちらともいえない		9 件	13.6%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
無回答				0 件	0.0%	
3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。 * 問1にて「はい」と答えた方以外は非該当	はい		46 件	69.7%	
		どちらともいえない		9 件	13.6%	
		いいえ		0 件	0.0%	
		わからない		1 件	1.5%	
		無回答		0 件	0.0%	
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい		59 件	89.4%
			どちらともいえない		6 件	9.1%
			いいえ		1 件	1.5%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		0 件	0.0%
プライバシーへの配慮	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい		49 件	74.2%
			どちらともいえない		4 件	6.1%
			いいえ		1 件	1.5%
			わからない		12 件	18.2%
			無回答		0 件	0.0%
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい		44 件	66.7%
			どちらともいえない		10 件	15.2%
			いいえ		3 件	4.5%
			わからない		9 件	13.6%
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい		61 件	92.4%
			どちらともいえない		2 件	3.0%
			いいえ		2 件	3.0%
苦情受け付けの方法等	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい		56 件	84.8%
			どちらともいえない		5 件	7.6%
			いいえ		2 件	3.0%
			わからない		3 件	4.5%
			無回答		0 件	0.0%
不満や要望への対応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることが出来ますか。	はい		40 件	60.6%
			どちらともいえない		18 件	27.3%
			いいえ		6 件	9.1%
			わからない		2 件	3.0%
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい		43 件	65.2%
			どちらともいえない		15 件	22.7%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		8 件	12.1%
			無回答		0 件	0.0%

# 長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所用)

事業所名称	ロザリオ保育園	有効回答数	66	人
-------	---------	-------	----	---

職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい		38 件	57.6%
			どちらともいえない		18 件	27.3%
			いいえ		1 件	1.5%
			わからない		9 件	13.6%
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか(職員によって言うことやすることに違いがありませんか)。	はい		36 件	54.5%
			どちらともいえない		18 件	27.3%
			いいえ		7 件	10.6%
			わからない		5 件	7.6%
	13	地域や家庭(保育所を利用していない家庭も含めた)の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい		23 件	34.8%
			どちらともいえない		16 件	24.2%
			いいえ		12 件	18.2%
			わからない		15 件	22.7%
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい		52 件	78.8%
			どちらともいえない		3 件	4.5%
			いいえ		11 件	16.7%
			わからない		0 件	0.0%
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。 * 問14にて「はい」と答えた方以外は非該当	はい		44 件	66.7%
			どちらともいえない		6 件	9.1%
			いいえ		1 件	1.5%
			わからない		1 件	1.5%
	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい		49 件	74.2%
			どちらともいえない		3 件	4.5%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		2 件	3.0%
利用に当たっての説明【過去1年以内に利用開始した場合】	17	実際に利用してみて、説明どおりでしたか。	はい		46 件	69.7%
			どちらともいえない		4 件	6.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		3 件	4.5%
			無回答		13 件	19.7%

## 個別サービス項目

食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		54 件	81.8%
			どちらともいえない		9 件	13.6%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		3 件	4.5%
	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		61 件	92.4%
			どちらともいえない		4 件	6.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		1 件	1.5%
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		61 件	92.4%
			どちらともいえない		3 件	4.5%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		2 件	3.0%
			無回答		0 件	0.0%

# 長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所用)

事業所名称	ロザリオ保育園	有効回答数	66	人
-------	---------	-------	----	---

事業所名称	項目	質問内容	回答状況							
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答			
保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会が多いですか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	49件 74.2%		
			10件 15.2%	3件 4.5%	4件 6.1%	0件 0.0%				
			22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	47件 71.2%
					11件 16.7%	0件 0.0%	8件 12.1%	0件 0.0%		
					23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
	7件 10.6%	0件 0.0%					8件 12.1%	0件 0.0%		
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい	どちらともいえない			いいえ	わからない	無回答	50件 75.8%
			6件 9.1%	0件 0.0%	10件 15.2%	0件 0.0%				
			25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	41件 62.1%
					18件 27.3%	6件 9.1%	1件 1.5%	0件 0.0%		
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	47件 71.2%
					16件 24.2%	3件 4.5%	0件 0.0%	0件 0.0%		
					27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
			25件 37.9%	2件 3.0%			0件 0.0%	0件 0.0%		
	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい	どちらともいえない			いいえ	わからない	無回答	47件 71.2%
			14件 21.2%	4件 6.1%	1件 1.5%	0件 0.0%				
29			インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	62件 93.9%	
				3件 4.5%	0件 0.0%	1件 1.5%	0件 0.0%			